

女子中高生のための 第1回 グローバル講演会

日本だけでなく、世界に目を向けてみます。教育制度は世界共通ではありません。海外での学びの事情を知ることで、小さな端末の画面から広い世界を体感してみましょ。その中には、皆さんの将来を考えるヒントが隠されているかもしれません。さらに、理系の研究者がどのようにして世界に通用する研究を行っているのか、百戦錬磨の研究を繰り返している舞台裏を紹介します。

モデレーター

佐藤敦子

お茶の水女子大学 理学部 生物学科 准教授



University of Oxford,
Department of Zoology and
Merton college
にて、2004年から2008年まで
留学し、半索動物の研究を行う。
その後、Marine Biological
Association of the UKで
Ray Lankester Investigator
として、異なった温度に適応した
ホヤを題材に適応進化についての
研究をはじめ、現在も、英国、フ
ランス、イタリア等と国際共同研
究を展開中。

私が理系研究者を目指すようになったきっかけ ～南アフリカ共和国での学校生活を経て～

伊藤 瑛海

お茶の水女子大学 ヒューマンライフイノベーション研究所 特任助教

14歳から18歳までの間、南アフリカ共和国の現地校に通いました。戸惑いもありましたが、さまざまなバックグラウンドをもつ同級生達に囲まれ、人生選択に大きな影響を及ぼした出会いがたくさんありました。このような経験をみなさんと共有したいと思います。

幼稚園・保育園から大学まで：フランスとケベックの教育制度の概要

Julien Tripette

お茶の水女子大学 文理融合AI・データサイエンスセンター 准教授

バカロレアは、フランスの教育システムの特徴としてよく知られています。その独自性は、文学と哲学の科目が重視されていることです。また、科学系の科目でも論述式で解答します。本講演ではフランスの教育システムを概観し、STEM科目がどのように教育されているかを説明します。カナダのケベック州の教育制度との比較も行います。

日時：2021年7月18日（日）14時～16時（講演・質疑応答）

※オンライン（Zoom）にて開催

対象：女子中学生・高校生、保護者、教員

主催：お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構

申込み・問い合わせ先

申込フォーム <https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/stem/20210718>
から、7/15(木) までにお申し込みください。

お茶の水女子大学 理系女性教育開発共同機構

E-mail: ocha-cos-office@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5825 FAX: 03-5978-2650

要申込

